

Canon EF LENS

EF100-400mm f/4.5-5.6L IS II USM



IMAGE STABILIZER

 ULTRASONIC

JPN

使用説明書

キヤノン製品のお買い上げ誠にありがとうございます。

キヤノンEF100-400mm F4.5-5.6L IS II USMは、手ブレ補正機能を備えた、EOSカメラ用高性能望遠ズームレンズです。

- ISはImage Stabilizer（手ブレ補正機能）の略称です。
- USMはUltrasonic Motor（超音波モーター）の略称です。

特長

1. シャッター速度換算で、4段分*（焦点距離400mm、EOS-1D X使用時）の手ブレ補正機能を備えています。
また不規則に動く被写体を撮影する場合に有効な手ブレ補正モード3を備えています。
2. 蛍石レンズとスーパー UDレンズを採用することにより、優れた描写性能を実現しています。
3. ASC（Air Sphere Coating）を採用することにより、フレアやゴーストの発生を低減しています。
4. 最前面と最後面のレンズ面に、フッ素コーティングを採用することにより、付着した汚れを従来に比べて簡単に取り除くことができます。
5. 超音波モーター（USM）搭載により、高速で静かなオートフォーカスを実現しています。

6. オートフォーカスモード（ONE SHOT AF時）のまま、合焦後にマニュアルでピント調整ができます。
7. ズームリングの操作感の調整ができます。
8. フードに円偏光フィルター操作窓を設けて、フードを取り付けた状態で円偏光フィルターの調整操作が行えます。
9. 三脚座の着脱ができます。
10. 円形絞りの採用により、なめらかで美しいボケ味が得られます。
11. エクステンダー EF1.4×III/EF2×IIIが使用できます。
12. 密閉構造の採用により、優れた防塵・防滴性能を備えています。
ただし、ほこりや水滴の侵入を完全に防ぐものではありません。

* CIPA（カメラ映像機器工業会）規格によります。

安全上のご注意

- レンズ、またはレンズを付けた一眼レフカメラで、太陽や強い光源を直接見ないようにしてください。視力障害の原因となります。
特に、レンズ単体で直接太陽をのぞかないでください。失明の原因になります。
- レンズ、またはレンズを付けたカメラを太陽に向けたり、撮影をしたりしないでください。
太陽が画面外にあるときや逆光撮影の場合でも、レンズに入った太陽の光が集光し、故障や火災の原因となることがあります。
- レンズ、またはレンズを付けたカメラを日光の下にレンズキャップを付けないまま放置しないでください。太陽の光が焦点を結び、火災の原因となることがあります。

使用時のご注意

- 本レンズをご使用になる場合は、カメラの最新ファームウェアを弊社ホームページで確認してください。カメラのファームウェアのバージョンが最新でない場合は、最新のファームウェアにアップデートしてください。
- ファームウェアのアップデート方法については、キヤノンのホームページで確認してください。

取り扱い上のご注意

- レンズを寒いところから暖かいところに移すと、レンズの外部や内部に水滴が付着（結露）することがあります。そのようなときは、事前にレンズをビニール袋に入れて、周囲の温度になじませてから、取り出してください。また、暖かいところから寒いところに移すときも、同様にしてください。
- 直射日光下の車の中などは予想以上に高温になります。レンズの故障の原因になることがありますので、このような場所にレンズを放置しないでください。
- レンズをカメラに取り付けた状態では、三脚の取り付けを含めてレンズ側を保持することをおすすめします。

本文中のマークについて

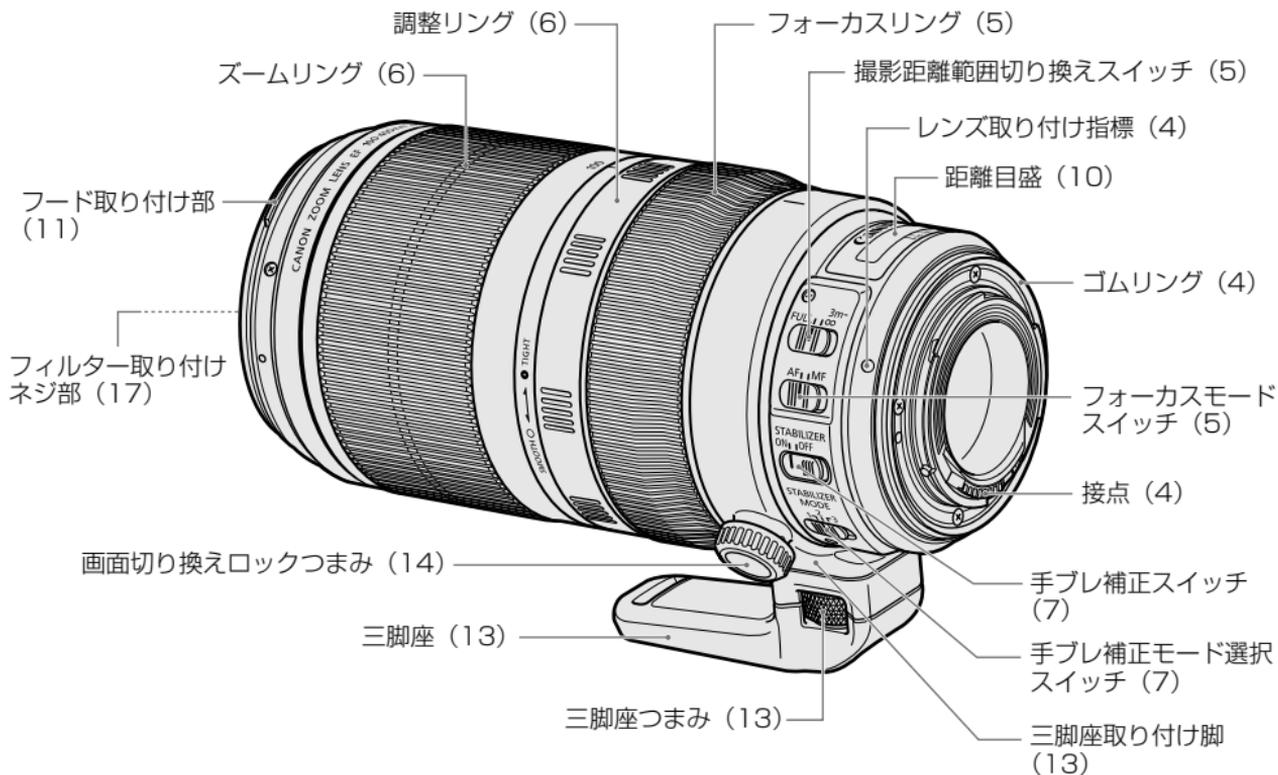


撮影に不都合が生じる恐れのある注意事項などが書いてあります。



基本操作に加えて知っておいていただきたい事項が書いてあります。

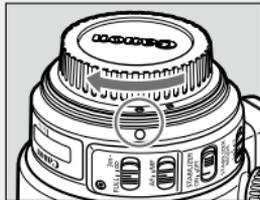
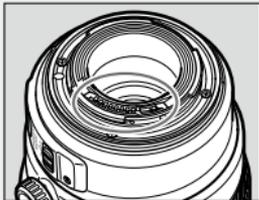
各部の名称



● (**) の**部は参照ページを示しています。

1. レンズの着脱

レンズの着脱方法については、カメラの使用説明書を参照してください。

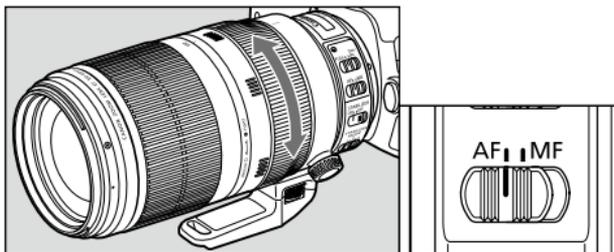


- レンズを外したときは、接点やレンズ面を傷付けないように接点を上にして置いてください。
- 接点に汚れ、傷、指紋などが付くと、接触不良や腐食の原因となることがあり、カメラやレンズが正確に作動しないことがあります。
- 汚れや指紋などが付着した場合は、柔らかい布で接点を清掃してください。
- レンズを外したときは、ダストキャップを付けてください。取り付けは、図のようにレンズ取り付け指標とダストキャップの○の指標をあわせて時計方向に回します。取り外しは、逆の手順で行います。



このレンズでは、防塵・防滴性能を向上させるため、マウント部にゴムリングを採用しています。レンズの着脱を繰り返すと、カメラ本体のマウントの外周部分にゴムリングの細かい擦れ跡が付くことがありますが、使用上の問題はありません。なお、ゴムリングはキヤノンサービスセンターで交換できます。(有料)

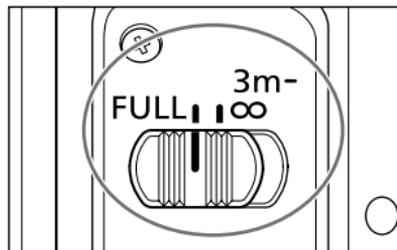
2. フォーカスモードの設定



オートフォーカス (AF) で撮影するときは、フォーカスモードスイッチをAFにします。マニュアルフォーカス (MF) で撮影するときは、フォーカスモードスイッチをMFにし、フォーカスリングを回します。フォーカスリングは、フォーカスモードに関係なくいつでも動かせます。

 カメラのAFモードがONE SHOT AFのときは、AFでピントを合わせたあと、シャッターボタンを半押しした状態でフォーカスリングを回すと、任意にピントを調整できます。(フルタイムマニュアルフォーカス)

3. 撮影距離範囲の切り換え

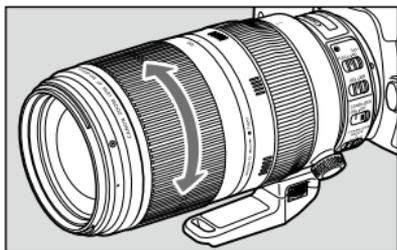


撮影距離範囲をスイッチで選べます。撮影距離に応じた設定にすることで、AF作動時間が短くなります。

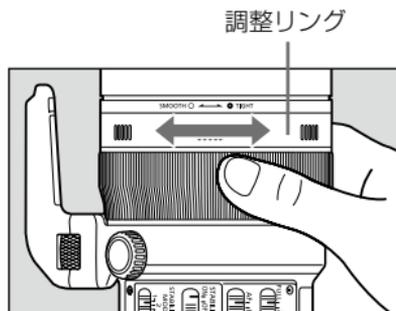
切り換え範囲

- ① FULL (0.98m-∞)
- ② 3m-∞

4. ズーミングおよびズームリング操作感の調整



ズームリングを回転させてズームリングします。

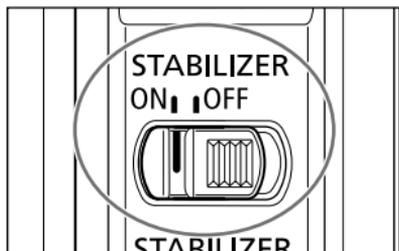


ズームリングの作動操作感（作動の重さ）は、任意に調整することができます。調整リングを「SMOOTH」の方向に回すと軽くなり、「TIGHT」の方向に回すと重くなります。

- ピント合わせはズームリングしたあとで行ってください。ピントを合わせてからズームリングすると、ピント誤差が生じることがあります。特に3mよりも至近側の被写体では、ズームリングによりピント誤差が大きくなります。
- レンズ先端が不用意に伸びることを防ぐため、撮影時以外は、調整リングを「TIGHT」方向に止まるまで回しておくことをおすすめします。

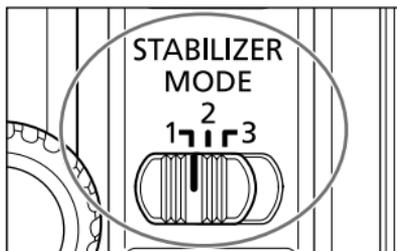
5. 手ブレ補正機能

手ブレ補正機能は、フォーカスモードがAF/MFどちらの場合でも使用できます。



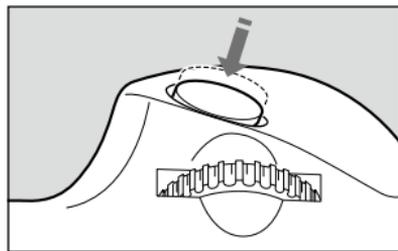
1 手ブレ補正スイッチをONにします。

- 手ブレ補正機能を使用しないときはスイッチをOFFにします。



2 手ブレ補正モードを選択します。

- MODE 1：すべての方向の手ブレを補正します。主に静止した被写体の撮影で効果を発揮します。
- MODE 2：水平方向の流し撮りのときは上下方向の手ブレ、垂直方向の流し撮りのときは左右方向の手ブレを補正します。
- MODE 3：露光中のみ手ブレを補正します。流し撮りのときは、露光中にMODE 2と同じく一方向のみの手ブレを補正します。



3 シャッターボタンを半押しした後、全押しして撮影します。

- MODE 1, 2：半押しすると、ファインダー像が安定し手ブレ補正機能が働きます。
- MODE 3：半押しすると、手ブレ補正の演算が始まり、全押しすると、手ブレ補正機能が働きます。

6. 手ブレ補正機能の有効な使い方

このレンズの手ブレ補正は、次のような条件の手持ち撮影で効果を発揮します。

● MODE 1



ON

OFF

- 夕景や室内など、薄暗い場所
- 美術館や舞台など、ストロボ撮影が禁止されている場所
- 足場が不安定な状況
- その他、速いシャッター速度が使用できない状況

● MODE 2



ON

OFF

- 移動する被写体を流し撮りする場合

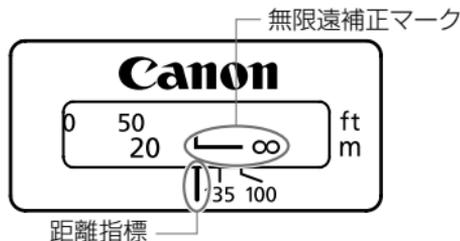
● MODE 3

- 露光中のみ手ブレを補正するため、スポーツ写真で不規則に素早く動く選手を撮影する際などにおいて、被写体を追いかけてやすくなります。

手ブレ補正機能の有効な使い方

- 被写体が動いてしまう「被写体ブレ」は補正できません。
 - バルブ（長時間露光）撮影のときは手ブレ補正スイッチをOFFにしてください。ONにすると手ブレ補正機能が誤作動することがあります。
 - 次のような状況では、手ブレ補正効果が十分に得られないことがあります。
 - ・大きく揺れ動く乗り物から撮影するとき
 - ・MODE 1で、カメラを大きく動かして流し撮りをするとき
 - 手ブレ補正機能を〈ON〉にすると、〈OFF〉の時にくらべて電池が消耗し、撮影可能枚数や動画撮影時間が少なくなります。
 - シャッターボタンから指を離しても、約2秒間は手ブレ補正が作動しています。この間はレンズを外さないでください。故障の原因になります。
 - EOS-1V/HS、3、7、7s、55、Kiss III、Kiss III L、IX E、D30のセルフタイマー撮影では、手ブレ補正機能は作動しません。
-  三脚を使用した場合もブレ補正効果が得られません。ただし三脚の種類や撮影条件により、手ブレ補正機能をOFFにした方が良い場合があります。
 - 一脚を使用した場合も、手持ち撮影と同等の手ブレ補正効果がありますが、撮影環境によっては、IS効果が低下する場合があります。
 - カメラによっては撮影後などに像ゆれが発生することがありますが、撮影への影響はありません。
 - カメラのカスタム機能でAF作動操作を変更したときは、変更後のAF作動ボタン操作でも手ブレ補正機能が作動します。

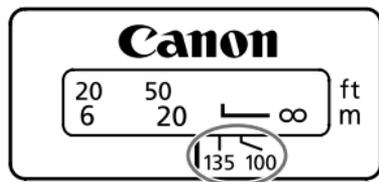
7. 無限遠補正マーク



温度変化によるピント移動を補正するため、無限遠 (∞) 位置に余裕を持たせてあります。常温の無限遠位置は、距離目盛のLマークの縦線と距離指標が合うところです。

- 無限遠の被写体に、MFで正確にピントを合わせる場合は、カメラのファインダーまたは液晶モニターで確認しながらフォーカスリングを回してください。

8. 赤外指標



赤外指標は、白黒赤外フィルム使用時のピントを補正するためのマークです。MFでのピント調整後に、距離目盛を赤外指標の位置までずらして撮影します。

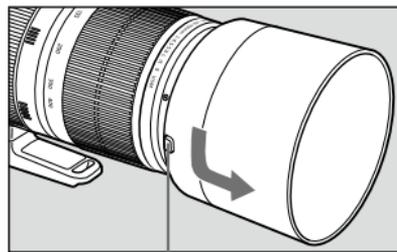
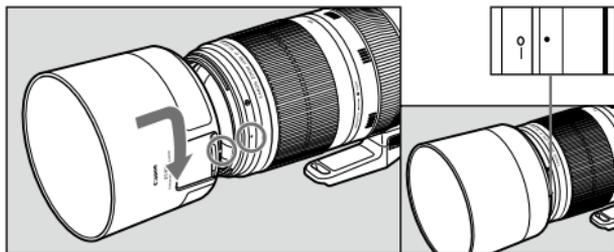
- 赤外フィルムが使用できないEOSカメラがあります。お手持ちのEOSカメラの使用説明書で確認してください。



- 赤外指標は800nmの波長が基準になっていません。
- 焦点距離によって補正量が異なりますので、表示されている焦点距離を目安に補正を行ってください。
- 赤外フィルムに記載されている注意事項も必ずお読みください。
- 赤フィルターを使用してください。

9. フード

レンズフードET-83Dは、有害光線をカットするとともに、雨・雪・ほこりなどからレンズ前面を保護します。



ボタン

● 取り付け

フードの赤い取り付け位置マークとレンズ先端の赤指標をあわせ、レンズの赤指標とフードの停止位置マークが合うまで、フードを矢印の方向に回して確実に取り付けてください。

● 取り外し

フードの側面にあるボタンを押しながら、フードの取り付け位置マークとレンズの赤指標が合うまで、フードを矢印の方向に回して取り外してください。
収納時にはフードをレンズに逆向きにかぶせることができます。

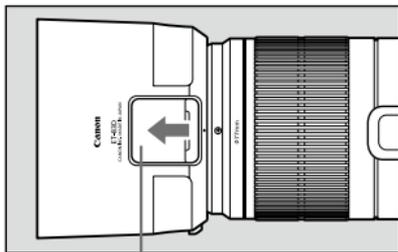


- フードが正しく取り付けられていないと、撮影画面にケラレが生じることがあります。
- フードの取り付けや取り外しをするときは、フードの根元を持って回してください。フードの先の方を持つと変形して回らなくなることがあります。

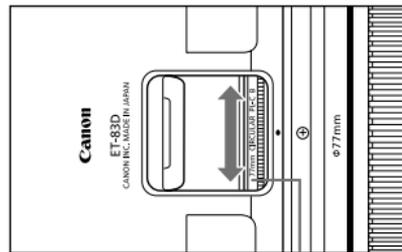
● 円偏光フィルター操作窓について

フードに設けられた円偏光フィルター操作窓を開くことにより、フードを取り付けたまま円偏光フィルター*を操作することができます。

* 円偏光フィルターはフードを外した状態で、レンズ先端のフィルター取り付けネジ部に取り付けてください。



円偏光フィルター操作窓



円偏光フィルター

- 1 フードに設けられた円偏光フィルター操作窓をスライドさせて開きます。
- 2 開いた円偏光フィルター操作窓から円偏光フィルターを操作します。

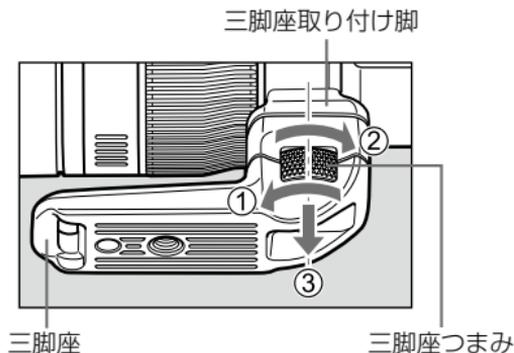


円偏光フィルターの取り付けに関しては、「12.フィルター」(p.17)を参照してください。

- 撮影は円偏光フィルター操作窓を閉めて行ってください。

10. 三脚座の使用法

三脚または一脚は、レンズの三脚座に取り付けます。



三脚座の取り外し

1 三脚座つまみを、矢印①の方向へ三脚座が外れるまで回します。

三脚座つまみを矢印③の方向へ押し下げながら回すと、より軽い力で回すことができます。

三脚座の取り付け

2 三脚座取り付け脚に密着させながら、三脚座つまみを矢印②の方向へ動かなくなるまで回します。
三脚座つまみが動かなくなったところから、さらにしっかりと締め付けてください。

- 三脚座を取り外すと、三脚座取り付け脚にメネジが露出しますが、このメネジに三脚や一脚などを取り付けないでください。メネジが破損して三脚座の取り付けができなくなります。
- 三脚座を取り付ける場合には、三脚座がガタつくことがないように、三脚座つまみをしっかりと締め付けてください。締め付けが不完全な場合、レンズが落下する恐れがあります。
- 三脚座の取り付けにガタつきがあると、三脚や一脚を使用して撮影しても、撮影画像にブレが発生することがあります。
- 三脚座は図に示す方向に取り付けてください。他の方向には取り付ける事はできません。
- 三脚座つまみを回すときに「カチッカチツ」と音がしますが異常ではありません。

レボルビング（回転）

画面切り換えロックつまみをゆるめると、カメラごと任意に回転させて画面の縦位置と横位置が変えられます。

11. エクステンダー（別売）

エクステンダー EF1.4×II/IIIおよびEF2×II/III使用時のレンズの仕様は次のようになります。

		エクステンダー EF1.4× II/III		エクステンダー EF2× II/III	
		WIDE	TELE	WIDE	TELE
焦点距離 (mm)		140	560	200	800
絞り数値		F6.3-45	F8-57	F9-64	F11-81
画角	対角	17° 35'	4° 25'	12° 00'	3° 05'
	垂直	9° 50'	2° 25'	7° 00'	1° 40'
	水平	14° 40'	3° 40'	10° 00'	2° 35'
最大撮影倍率(倍)		0.17	0.44	0.26	0.64

エクステンダー（別売）

- レンズにエクステンダーを取り付けた後、カメラに取り付けてください。取り外しは逆の手順で行ってください。先にカメラを取り付けると、誤作動することがあります。
- 本レンズに、エクステンダー EF1.4×II/EF2×IIを使用し、EOS 5で撮影するときは、EF1.4×IIでは-1/2段分、EF2×IIでは-1段分の露出補正をしてください。
- エクステンダー EF2×II/III使用時は、AFは使用できません。マニュアルフォーカス（MF）で撮影をしてください。
- エクステンダー EF1.4×II/III使用時は、AFは使用できません。マニュアルフォーカス（MF）で撮影をしてください。
ただしカメラがEOS-1D X*、EOS-1Ds Mark III、EOS-1Ds Mark II、EOS-1Ds、EOS-1D Mark IV、EOS-1D Mark III、EOS-1D Mark II N、EOS-1D Mark II、EOS-1D、EOS 5D Mark III*、EOS 7D Mark II、EOS-1V/HS、EOS 3のときは、中央部測距点でのみAF撮影ができます。
- エクステンダーは重ねて使用できません。



エクステンダーを使用したときは、制御性を考慮してAF速度を遅くしています。

- * カメラのファームウェアをアップデートすることにより、AFで撮影ができます。
ファームウェアのアップデートについては、キヤノンのホームページでご確認ください。

12. フィルター（別売）

フィルターは、レンズ先端のフィルター取り付けネジ部に取り付けてください。

- 偏光フィルターはキャノン円偏光フィルター PL-C B（77mm）を使用してください。
- フードに設けられた円偏光フィルター操作窓を開けた開口部より、円偏光フィルターの調整操作が行えます。

13. クローズアップレンズ（別売）

クローズアップレンズ500D（77mm）を使用して拡大撮影ができます。
撮影倍率は0.2～0.78倍です。

- クローズアップレンズ250Dは使用可能なサイズがありません。
- 正確なピント合わせのため、MFをおすすめします。

14. エクステンションチューブ（別売）

エクステンションチューブEF12 II/EF25 IIを使用して拡大撮影ができます。撮影距離範囲と撮影倍率は次のようになります。

	撮影距離範囲(mm)	撮影倍率(倍)			
		近距離側	遠距離側	近距離側	遠距離側
EF12 II	100mm	586	1121	0.27	0.12
	400mm	881	13306	0.38	0.03
EF25 II	100mm	476	664	0.42	0.27
	400mm	814	6571	0.46	0.07

- 正確なピント合わせのため、MFをおすすめします。

主な仕様

焦点距離・明るさ	100-400mm F4.5-5.6	
レンズ構成	16群21枚	
最小絞り	F32-40*	
画角	対角	24° ~ 6° 10'
	垂直	14° ~ 3° 30'
	水平	20° ~ 5° 10'
最短撮影距離	0.98m	
最大撮影倍率	0.31倍 (400mm時)	
画界	約77×116mm (0.98m時)	
フィルター径	77mm	
最大径×長さ	94×193mm	
質量	約1570g	
フード	ET-83D	
レンズキャップ	E-77 II	
ケース	LZ1326	

* 数値は絞り表示が1/3段ごとの場合です。1/2段ごとの場合はF32-38になります。

- レンズの長さはマウント面からレンズ先端までの寸法です。
キャップおよびダストキャップをつけたときの長さは寸法表示+約24.2mmになります。
- 大きさ・質量表示は三脚座を除く本体のみの値です。
- クローズアップレンズ250Dは装着できません。
- 絞り値は、カメラ側で設定します。
- 記載データはすべて当社基準によります。
- 製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

1. 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりはお客様にてご負担願います。
2. 本製品のアフターサービス期間は、製品製造打ち切り後7年間です。なお、弊社の判断によりアフターサービスとして同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の場合、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことがあります。
3. 修理品をご送付の場合は、撮影された画像を添付するなど、修理箇所を明確にご指示のうえ、十分な梱包でお送りください。

キヤノンEFレンズホームページ
canon.jp/ef

キヤノンお客様相談センター
050-555-90002 (直通)

受付時間〈平日〉9:00~20:00〈土/日/祝〉10:00~17:00〈1/1~3は休ませていただきます。〉

※ 海外からご利用の方、または050からはじまるIP電話番号をご利用いただけない方は03-3455-9353をご利用ください。

※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

Canon